

・ルイ「うう…。ここで天寿を全うしてもどうせまた、生まれ変わっちゃうんだ…。人間に、元に戻りたい…！」

見出し（そして…）

- ・ふと目覚めると、元の世界に戻っている
- ・ルイ「うそ！？元に戻ってる！？」ペケ「なんかよくわかんないけどよかったー！」
- ・傍らを見ると「輪廻プリンター」が壊れている。
- ・どうやら使いすぎで壊れてしまったこと（枚数上限や使用し過ぎで故障など）をきっかけに、元の世界に戻ったと察する。
- ・ルイ「輪廻転生なんて自分の都合ですもんじゃないね。ボクたちは今を一生懸命生きるべきだよ」
- ・ペケ「うん！じゃあ今度は人間だけに設定して…」
- ・ルイ「ボクの話、ちゃんと聞いてた！？もー！少しは反省してよー！」

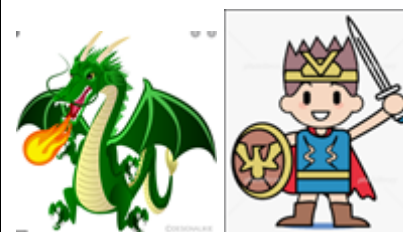
見出し候補

- 1輪廻転生
- 2輪廻転生成功
- 32回目の輪廻転生
- 4輪廻転生の落とし穴

台本

セリフ	演出イメージ
//赤ちゃんになっているルイ ルイ「…あうー」 //←カッと目を開けて ルイ「バブバブバブー！！（輪廻転生してるー！！）」	背景：ベビーベッドの中 ②おしゃぶりをしているルイ 
OP	
輪廻転生するとどうなるのか？	
//転生系主人公が敵を蹂躪しているアニメを見ているペケッツとルイ ドラゴン「ひゃ100年前に隠蔽したはずの弱点をなぜ知って…！」 //剣でドラゴンの脇を攻撃 主人公「ハハハッ、前世では当たり前知られていたのさ！チェストオオオ！！」 ドラゴン「グアアアッ！」 ペケッツ「アニメのやっぱり転生系の主人公って強いな〜」	背景：ルイの部屋 配置イメージ

ルイ「そうだね、前世の記憶があれば勉強もたくさんできるし...輪廻転生ってちょっと憧れるよ」
ペケッツ「んー？輪廻？転生...？ってなにー？」



輪廻転生

ルイ「輪廻転生っていうのは、死んでも魂が新しい体に入って宿って生まれ変わる直すって考え方だよ」
ペケッツ「え、地球人ってそうなの！？ふーん、魂ってリサイクルされてたのかー」

//ちょっと身も蓋もない言い方に呆れて

ルイ「いや、そういう考え方だよ...」

ペケ「なんだあ〜...地球人みんな転生ヒーローなのかと思ったよう...」

ルイ「まさか！...でもいやいや確かにそうかもだけど！」

ルイ「日本人の20%は実際に前世の記憶を持って生まれてきてる人は意外と多いんじゃないかって言われていたりもするよ。ただ子供の頃に忘れてるだけでねって言われてるんだから失礼になるよ」

//意地悪に

ペケッツ「だってほんとならもっと昔のことが知られてるんじゃないのー？」

ルイ「それが、成長するにつれ忘れていっちゃうんだ」

//以下、知らない人を刺して何か言ってる子どものシルエットのイラスト

ルイ「でも、実際にあった面白い話だけど、もあるよ。戦争の記憶を持つ子供がいたり、子どもが全く知らないはずの歌を歌い出したり、会ったことのないはずの人を覚えていたり、前世の記憶がないとありえないことが起きてるんだよ前世で自分を殺した犯人を知ってたり...」

ペケッツ「へ〜...もし本当に前世の記憶もってたらアニメの主人公みたいに大活躍できちゃうかな？...ハッ！それが完全犯罪だったら名探偵になれるんじゃない！」

ルイ「一回だけ推理できても名探偵にはなれないんじゃない？」

ペケッツ「うむーもっと他に有効活用できないものか...むむむ...あっ！ひらめいた！！」

ルイ「何か嫌な予感しかしないんだけど...」

ペケッツ「ふっふっふ...もし記憶を持ったまま輪廻転生すれば、未来のゲームズーっとやり放・題！」

ルイ「えっ？」

ペケッツ「そうと決まれば...じゃじゃじゃじゃっじゃじゃーん！輪廻プリンター！」

ペケッツ「これを使えば記憶が残ったまま輪廻転生できるんだ！」

ルイ「この外見...むしろ走馬灯が見えそうな...」

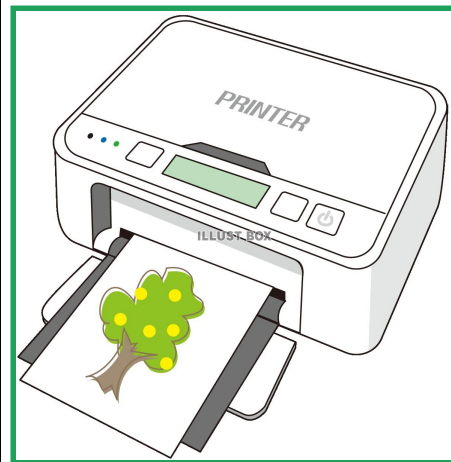
背景：ルイの部屋

<https://www.tv-tokyo.co.jp/plus/entertainment/entry/2020/022789.htm>

//

https://www.excite.co.jp/news/article/Tocana_201601_11_1/

輪廻プリンター（よくある印刷機）



ルイ「それに輪廻転生するって死ぬってこと...じゃ？大丈夫なのかな...やめ といた方がいいんじゃない」 ペケッツ「とにかくやってみよー！ぼちとな！」 //画面がうねうねと揺れてルイがプリンターに吸い込まれる苦しげに叫ぶ ペケルイ「う、うわああああ...」 ルイ「なんでボクまでええええ！」 //輪廻転生演出：印刷機から紙が吐き出されるアニメ。ホワイトアウト	片手で持てるサイズに小さく、細かい部分は省略して描写おねがいます。 アニメ参考（ https://www.youtube.com/watch?v=sYzPukguNz4）
輪廻転生成功	
ルイ「おぎゃあ、おぎゃあ、おぎゃあ...おぎゃッ!？」 //音声は赤ちゃんの鳴き声とその裏で（）内のルイの声で話し、テロップは （）内にできますでしょうか？ ルイ「おぎゃ、おぎゃぎゃーぎゃぎゃっぎゃぎゃ〜っ！（ボク、赤ちゃん になってる〜っ!）」 ルイ「おぎゃ！おぎゃ、おぎゃぎゃーっ!？（ハッ、ペケッツは、ペケッ ツーっ!？」 //カメラが引いて横にペケッツが寝ている ペケ「はい」 ルイ「おぎゃーー！（意外と近くにいたペケッツーー!）」 ペケッツ「うーん、うるさいなあ。赤ちゃん語はわかんないよー」 ペケッツ「輪廻転生してるんだからもう喋れるはずでしょー？」 //若干舌っ足らずで ルイ「え...あ、ほほんとだ...！ボクたち本当に輪廻転生を...」 ルイ「っていうか...なんでペケッツは同じ姿なの!？」 ペケッツ「さー？」 ペケッツ「それより、輪廻転生大成功だよ！さっそくゲームやろうよー！」 //短い手を必死に動かして ルイ「この姿でできるかー！この先どうするんだよ〜〜〜さすがにまだでき ないよー！」 —数年後— //ルイとペケッツ、学校に登校 ルイ「ようやく小学校の入学式かー」 ペケッツ「えールイなら小学校の勉強なんかしなくてもいいじゃん〜お家で 遊ぼうよ〜はもう済んでるんだからべつに行かなくていいと思うけどな」 ルイ「義務教育だしそうもいかないよ...」 //大人になったゴウと、ゴウの子供が桜の下に立っている ペケッツ「あ、ゴウ!」 ルイ「豪恩寺!？ほんとだ!」 //ルイ、ゴウに駆け寄って ルイ「豪恩寺、久しぶり！まさかきみの子供と同級生になるとはね」 //ゴウ、訝しげに ゴウ「ん？お前たち誰だ?」 ルイ「えっ...ボ、ボクは前世の記憶があって...！ほ、ほら、中学で一緒だっ た...」 ペケッツ「ルイルイ、ゴウは今のルイのこと知らないよ...」 ルイ「あ、そ、そっか...」	背景：ベビーベッドの中 アバンと同じ画像 背景：学校（校門前）

ゴウ「変な子だなあ。ま、うちの子とも仲良くしてやってくれよ～」 //豪恩寺去っていく周りにいた人、さっといなくなっていく モブ子供「前世の記憶だっ—」 モブ親「しっ、近づかないの！」 ルイ「そ、そっか...ボクはもう豪恩寺の知ってるルイじゃないんだ...なんだかさみしいな...。同級生もこの頃には前世のこと忘れてる。言わなきゃよかったかな...」 //悲しい顔をするルイ。それを見てペケッツが励まそうとする ペケッツ「ま—まだ転生一回目だよ！これからこれから！じゃん。チュートリアルみたいなもんだって！」 ルイ「ん？どうゆうこと？」 ペケッツ「輪廻プリンターがあれば、何度だって輪廻転生できるからね！気に入らなかったらすぐに転生転生！ポチッとなし、来世に期待しよ！」 ルイ「え、ちょ...うわあああああ！！う、うん...。今回は失敗しちゃったけど、来世は頑張るぞ！」 //輪廻転生演出：印刷機から紙が吐き出されるアニメ	
---	--

2 回目の輪廻転生

//ルイ、高級マンションの一室にいるで宙に浮いたモニターを見ている

ペケルイ「この人生はうまくやれたねー。まだ学生なのに前世の知識を使って大金持ちだ！」

ルイ「うーん...そうなんだけど、なんかズルしてるみたいだ...」

ペケ「まったくルイは真面目だなあ～転生ってそういうものでしょ？」

ルイ「まあ、そうなんだけど...」

//ペケッツ、カットインして

//ペケッツ、VRゴーグルっぽいものをつけながら

ペケッツ「それよりルイルイ！最新ゲームを発売前に入手したよー！さっそくやってみよーよ！」

ルイ「へー、こんなゲームが発売されるんだ～。転生しなかったらこんな未来のゲームもできなかっただろうなあね」

//ペケッツ、部屋の中にある浮いた台に乗り、VRゴーグルっぽいものをつけながらを持って

ペケッツ「ね～！転生バンザイだよ～さっそくやってみるか——！」

ルイ「このままゲームもどんどん発展していくんだろうなあ」

ペケッツ「もっと発展！？おもしろいゲームがもっとおもしろく.....よし！ん—でもこういう体験系のゲームももう飽きてきたな～。新しいハードが開発されるのって何年後？」

ルイ「この流れはまさか...このハードも出たばかりだしまだ先じゃない」

//ペケッツ、台の上をぴよんぴよんと跳び

ペケッツ「いやだいやだいやだー！もっと最先端のゲームがしたいよ——！」

ルイ「開発急かしたってまだ何年かはかっちゃうよ」

ペケッツ「あっ分かった！もう一度転生すれば時間が進むし、新しいゲームで遊べる！ルイ、早く転生しよう！」

ルイ「ええ、今成功してるしこのままがいいけど...」

ペケッツ「なら来世は大成功だよ！」

//ペケッツ、輪廻プリンターを出し

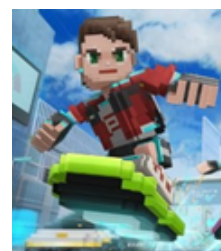
ペケッツ「さ——ぽちとな！」

//画面がうねうねと揺れ

ルイ「もう気軽に転生しないでえええええ～～～っ！」

//輪廻転生演出：印刷機から紙が吐き出されるアニメ

背景：近未来っぽい部屋



近未来のゲーム（部屋の中にある浮いた台がハード。それに乗りVRゴーグルをつけて楽しむ）

輪廻転生の落とし穴

//ルイの視界。見渡す限りの草原が広がっている。ルイの視界

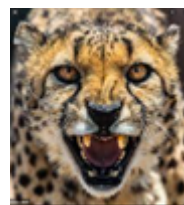
背景：草原

ルイ「んん～...また転生か...あれ...なんで外で寝てるんだ...？」
 //ルイとペケッツ、ウサギになっている
 ルイ「って、ええええ！！ボクたち、動物に生まれ変わって
 ー！！」
 ペケッツ「ルイいいいいえええええ！」
 ルイ「ペケッツ...！なんかおかしいよ！ボク、ウサギに...！」
 //ペケッツもウサギに
 ルイ「って、ペケッツも...？」
 ペケッツ「ボクもウサギになっちゃってるよ～～！！こ、こ、こ、これ
 じゃ、ゲームができないよ～～！！」
 ルイ「ゲームどころじゃないでしょ！！なんでこんなことに...」
 ルイ「これじゃ前世の記憶が役に立たない...一体どうやって生きてけば...」
 //近づいてくる影にペケッツが気づいて
 ペケッツ「ルルルルルイ...！！後ろ...！」
 ルイ「えっ？」
 //ライオンチーター、登場
 ライオンチーター「グルルルル...」
 ルイ「ライオン！？！？えっえっ？」
 ペケッツ「待って待ってボクたち美味しくないよ！」
 ルイ「そ、そそそうだよ元人間で美味しくないからッ...！！」
 //チーター、大口を開けて
 ペケッツ・ルイ「うぎゃああああああ！！！」
 //暗転
 //輪廻転生演出：印刷機から紙が吐き出されるアニメ
 //見渡す限りの森が広がっている。ルイの視界
 ルイ「あああああ...ハッ、夢か...」
 ペケッツ「夢じゃないよルイ...」
 //ルイ、ペケッツキツネになっている
 ルイ「今度はキツネになってる！？えっペケッツその姿...ああそうか。ボク
 たち丸飲みされて輪廻転生したんだ...」
 //ペケッツ、手で地団駄を踏みつつ
 ペケッツ「も～～なんでまた動物なの～！？ゲームできないよはー！？」
 ルイ「たぶん転生って人間に転生できるとは限らないってことだと思う...そ
 れにうん、人間よりも他の動物のほうが種類が多いし...確率を考えると人
 間になれる方が珍しいのかも...な？」
 ペケッツ「そ、そんな.....」
 ルイ「もしかしたら、もう人間になれるなんてことも...」
 ペケ「それはつまり.....輪廻転生ガチャってこと！？」
 ルイ「うん？うーん...？」
 ペケ「ガチャは好きだよ！！レアの人間を引き当てるまでボクは諦めな
 い！！あ、でも逆に燃えてきたッ！」
 ペケッツ「次は人間を引いてゲーム祭りだっ！ってことでルイ！」
 ルイ「ポジティブすぎない...？うん、でもなんか更に嫌な予感が...」
 //輪廻転生演出：印刷機から紙が吐き出されるアニメ
 //レイナレーション
 ルイ「そうしてボクたちは何度も転生を繰り返した。でも、なれるのは動物
 ばかり...」
 ルイ「その内になんと天変地異が起きて、人類は滅亡の危機をむかえた人間
 の世界は滅んでしまった...」
 //ルイとペケッツ、人間の姿
 ペケッツ「うわーん！ようやく人間に生まれたのに！もうゲームできないよ
 ～～！」
 ペケッツ「くう～～～おとなしく転生アニメ見てればよかった...」
 ルイ「はあ、元に戻りたい...ねえペケッツ...転生する前に戻すことはできな
 いの？今すぐ戻してよ！」
 //ペケッツ、泣きながら
 ペケッツ「そんなの無理だよー！だって最初のボクたちはとっくに死んでる
 し、進んだ時間に戻せるわけじゃないでしょー！うわーん！！」

ルイとペケッツ、ウサギに（前髪
 やヘッドホンなど本人とわかるテ
 イストを取り入れた姿）

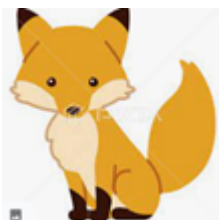


ルイたちを食べるライオンチ
 ター

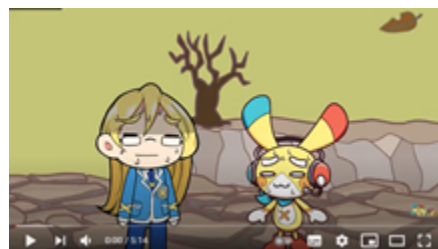


背景：森の中

ルイとペケッツ、キツネに（前髪
 やヘッドホンなど本人とわかるテ
 イストを取り入れた姿）



背景：枯れた地球（もしも不老不
 死になったらアバンのようなイ
 メージ）



ルイ「そ、そんな...それじゃボクたちはこの滅びゆく地球でずっと過ごすしかないっていうの...？うわああああん...！」 //シーンとなる ルイ「ペケッツが悪いんだ...」 ペケ「え？」 ルイ「ペケッツが悪いんだよ！！いつもいつも勝手になんでもして！ボクの言うことも聞かないで！！」 ペケ「ルイ...」 ルイ「ほんとだったら今ごろ転生なんかせずに普通の人生を過ごしてたはずなのに...！ううう...」 ペケ「ごめん...ごめんねルイ...ボクのせいで...ごめんね」 ルイ「.....もういいよ。怒ってもどうにもならないんだし...」 ペケ「ルイ...」 //ペケッツ輪廻プリンターを見ながら ペケ「ボクがこんなヘンなアイテムを使わなければ、転生なんかせずにルイと楽しくゲームしてたのに...このう！！」 //輪廻プリンターをルイの足元に投げつけるペケッツ ルイ「乱暴しないでよ...壊れたらどうするの？」 ペケ「いいようもう！どうせもう転生しても楽しい世界はないんだし！」 ルイ「そうだけど.....ん？」 //ルイ、取り消しというボタンを見つける ルイ「取り消し.....取り消し！？！？ぺ、ペケッツ！！この取り消しってなに！？」 ペケ「んー、転生印刷の取り消しボタンじゃない？」 ルイ「んいや！取り消せるんかい！！！」 ペケ「あ、取り消せるっぽいね〜。てへ」 ルイ「今までのケンカなんだったんだよ〜！！は、早く取り消そうよ！」 ペケ「そ、そうだね！ぼちっと」 ペケッツ「でも、ここで天寿を全うしたって進んだ時間は戻せない...せめて地球が再建していることを夢見て...」 //ペケッツ、弱々しく輪廻プリンターのスイッチを押す ペケッツ「ぼちっと...」 //輪廻転生演出：印刷機から紙が吐き出されるアニメ（いつもよりも色が薄い、等壊れていると分かる変化がある）	
そして...	
//背景：異世界っぽい場所ルイ、ベッドで目覚める ルイ「ふう...これでやっと元の世界に...」 //異世界の全体が映る ルイ「ってどこ！？」 ペケ「ありゃ〜なんか異世界っぽいね〜」 //以下、ペケッツが投げつけたシーンを白黒で ルイ「もしかしてさっきペケッツが投げた時に「輪廻プリンター」が壊れてヘンな取り消され方しちゃった！？」 ペケ「そうなのかも...？まあでも、異世界転生ヒーローっぽくていいね〜！！さあルイ！！ボクらの冒険の始まりだよ！！」 ルイ「もういやあああああ！！元の世界に戻りたいよ〜〜〜！！！」 //黒丸とじ ルイ「えっ？」 //ルイ、がばっと起きて ルイ「うそ！！元に戻ってる！？」 ペケッツ「よくわかんないけど良かった〜〜〜！」 //床に落ちてる輪廻プリンターが壊れている ルイ「あ、壊れてる！もしかしてそれで戻った？」 ルイ「は、良かった。輪廻転生なんて自分たちの好きにしちゃダメなことだったね。ボクたちは今を 生懸命生きるべきだ！」	背景：ルイの部屋

ペケッツ「うん！じゃ次は人間だけに輪廻転生できるよう修理して...」
ルイ「ボクの話聞いてた！？も！少しは反省してよ！！」

終了